

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：企画・試験研究調整担当
 内線：4035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p2	気候変動に対応した農業技術開発事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農業技術研究センター費	
事業期間	令和5年度～令和9年度	根拠法令	農業改良助長法、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律		針路分野施策	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2, 13
						1202	強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-4, 13-3
1 事業概要 農業分野において気候変動の原因となる温室効果ガス削減対策「緩和策」と既に生じている、あるいは、将来予測される気候変動の影響による被害の回避・軽減対策「適応策」をより一層推進するため、新たな施設整備等を通じて技術開発・実証を実施する。 気候変動に対応した農業技術の開発 △2, 839千円				5 事業説明 (1) 事業内容 暑さに強いが、寒さにも強い品種の育成などの気候変動の影響による被害の回避・軽減対策である「適応策」や省エネによる化石燃料の使用削減などの温室効果ガス削減対策である「緩和策」を推進するため、環境負荷低減や環境適応などを目的とした試験・実証を実施する。 (2) 事業計画 ア バイオ炭利用による二酸化炭素貯留・作物生産性向上技術の開発 1,990千円 イ 水稲乾田直播栽培の冬期播種技術の開発 1,000千円 ウ 高温登熟耐性と障害型冷害耐性を両立したイネの育成 16,191千円 エ ユリの施設栽培における局所温度管理技術の開発 1,430千円 オ 施肥方法による一酸化二窒素排出削減効果の実証 500千円 カ ドローンによるリモートセンシング技術を活用した水稲の適正施肥の推進 6,037千円 (3) 事業効果 温室効果ガス対策である「緩和策」「適応策」に係る技術の開発・実証がなされる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 国立研究開発法人や、都道府県公設試、大学、民間企業、農家等と連携をしながら課題解決のための試験研究を実施する。 (5) 補正予算の概要 ア 事務費の削減による減額 イ 事務費の削減による減額 ウ 入札差金の発生による減額 エ 入札差金の発生による減額 カ 事務費の削減、入札差金の発生による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×6人=57,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,839							△2,839	27,148
現計額	29,987							29,987	

事業内訳書

事業名	気候変動に対応した農業技術開発事業		
単位事業名	気候変動に対応した農業技術の開発	予算額	△ 2,839千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,839	—	
合計	△2,839	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△9	—	事務費の節減による減
需用費	△158	—	事務費の節減による消耗品費の減
役務費	△180	—	事務費の節減による通信運搬費、手数料の減
備品購入費	△2,257	—	入札差金の発生による試験用機器購入費の減
負担金、補助及び交付金	△235	—	事務費の節減による負担金の減
合計	△2,839	—	